

高等部 特別活動 2年 年間指導計画

指導内容	参考:単元名(仮)
☆生徒会・行事は年間予定による	
<b>学級活動</b> ○全ての学年において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。 ＊高等学校のホームルーム活動は、それぞれの特質に応じて(1)、(2)、(3)の活動内容に分類される。ここに示したそれぞれの活動内容においては、入学から卒業までを見通して、取り扱うものとして複数の内容項目が示されている。	
(1) ホームルームや学校における生活づくりへの参画 イ ホームルーム内の組織づくりや役割の自覚 ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践すること。  ウ 学校における多様な集団の生活の向上 生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取組を話し合っ決めていくこと。	ホームルーム 生活単元学習          ホームルーム
(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 イ 男女相互の理解と協力 男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画すること。  オ 生命の尊重と心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣の確立 節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。 ※放射線教育に関する学習を文部科学省からの放射線等に関する副読本及び福島県教育委員会の放射線等に関する指導資料等を参考に児童の実態に応じて、特別活動に位置付け、各教科と関連付けて指導する。	ホームルーム 自立・保健と関連          ホームルーム 道徳、理科、家庭科、保健と関連
(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 ウ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成 社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動すること。  エ 主体的な進路の選択決定と将来設計 適性やキャリア形成などを踏まえた教科・科目を選択することなどについて、目標をもって、在り方生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えること。	ホームルーム 作業学習 職業と関連          ホームルーム 作業学習 職業との関連

＊ホームルームの活動を3年間に分けて、指導している。各教科等を合わせた指導において、意識して行う単元、ホームルーム活動で実施する部分の単元については、子どもの学びやすさ、指導上の効果が上がることを考えて位置づけること。